

会員講話の記録

	年 月	講 師	演 題	内 容
132	15・01		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと自慢 ・美しい日本語の宝石箱 相撲言葉 	
131	14・12		<ul style="list-style-type: none"> ・よく見た夢 ・進化しています 自動車 	
130	14・11		<ul style="list-style-type: none"> ・多病息災その後 ・酒豪と長命 	
129	14・10		<ul style="list-style-type: none"> ・ノニジュースの話 ・食品添加物 	長時間の「会員講話」は今月で終了し、代わりに簡単な「ミニ講話」を2件ずつ設けることとした。その内容記載は省略します。
128	14・09		パソコンの楽しい利用法	遅くなったパソコン対処法、ネット検索の仕方等7つのテーマに分けじっくり説明があった。無線LANとWi-Fi,タブレット端末についても、会員からの説明があった
127	14・07		会社の常識は世間の非常識	製薬会社MR時代の逸話紹介。説明書の丸暗記、業界・社内の過当競争が抗生物質投与の多用濫用に通じたことなど。疑問抱かぬ当時を反省
126	14・06		海運のお話	海運について特徴・歴史的風土・海運と海軍・日本人船員の激減等7項目に分けての解説。「郵船」40年の体験から、海運のエポックは「ペリー来航」「コンテナ船登場」「冷戦終結」の三つである、との説得力ある推論。
125	14・05		プラント輸出夜話	敗戦国日本が瓦礫の中から今日の繁栄に辿りつくまで、資本財輸入から輸出に明け暮れた商社マンの話。プラント輸出初期の珍談、中近東ならではの厳しい環境、契約の特殊性など解説。終わりに現代の日本人への警鐘、と日本の技術立国として生き延びるための提言があった
124	14・04		防衛大学校・開校祭の紹介と日本の防衛力	横須賀の防衛大開校祭見学を枕に、防大・3自衛隊・我が国の防衛力・防衛産業と広範囲のテーマ。「サイバ

				一戦争、宇宙からの攻撃」という新たな脅威により、今後の戦争形態が一変する、(引揚体験者として) 勝たねば悲惨な事態になる、が講話のまとめ。
123	14・03		紙のはなし	苦小牧工場勤務の体験談。紙・文字・印刷技術のルーツを包含した映像入りの講義、明治以降の日本の製紙業(特に王子製紙)と三井財閥の関係、戦後海外従業員約12,000名の受け入れ苦労話、環境問題への対応等多岐にわたる講話でした
122	14・02		幸せについて	36歳の時、1泊2日7万円のセミナーを受講し、その強烈な印象と「気付き」の大切さについての体験講話。「これまでの人生のスライドの一駒を差し換えて、幸せを手繰り寄せる積極手法」など納得
121	14・01	全会員	2014年の抱負	100歳まで元気で!の目標から、ゴルフ100が切れない!の嘆き節まで、各人各様の夢と希望の交錯。
120	13・12		開戦をめぐる日米の動き	多くの事実関係資料に基づき、巷間の「陸軍悪玉・海軍善玉」説への反論。仏印進駐裏話や対米通告に開戦意図表明常套句が欠落していた事など、真に興味深い講話
119	13・11		海外出張時の思い出あれこれ	お役目柄、日本経済発展を支える現地駐在員の現状視察談。アジア米国など11カ国40回に及び、それにまつわる事件、珍しい体験談多数を披露
118	13・10		私と民族音楽	曲がりなりにもクラシックヴァイオリンを学んできたが、海外各地で多くの民族音楽と出会い、その魅力にのめりこんでしまったお話。08年7月の音楽履歴の続編
117	13・09	パネラー2名	シンポジウム: 介護制度と人生終末の迎え方	前半: 介護保険制度の説明をもとに質疑応答、補助金の地域格差や徘徊者の追尾対策なども学ぶ。 後半: 終末に対する自分の考えを家族によく言って置くこと、最後は遺言準備で完了

116	13・07		老後の健康（ミトコンドリアのちから）	医師の勧めで勉学開始、人は2000個のミトコンを持ち活性酸素の発生を抑える。ミトコンを増やす“若返り”の具体例では誰一人居眠りなし。講師診断では、“当会員はミトコンとの共存OK”との嬉しい評価
115	13・06		団十郎さんを偲んで	「江戸歌舞伎と市川團十郎」及び12代目の写真、家系図付き資料に基づき、中学生時代からの蘊蓄傾けた追悼の辞、流石に格調高し
114	13・05		映画とわが人生	70年前の「経済原論」講義の先生が話された「姿三四郎」、これですっかり映画にのめりこむ人生。引き続き「第三の男」ほか、世界名画の懐古的懇談会に移行
113	13・04		私の履歴書とシリコンバレーでの経験	桑港の美術雑貨商の家系で開戦直後の帰国、横浜での誕生から、日立製作所勤務（特にシリコンバレー時代）の日米文化比較論含む経歴報告
112	13・03		藤田嗣治の挿絵本と戯画	2005年の「藤田画伯の贋作を集めて」に続く第2弾。ロンドン駐在時代、お子達の高額教育費に刺激され、“一度自分にも投資を！”と一念発起したのが動機。コレクター手持ち作品から30枚が苦労話と共に鑑賞に供され、教養を深めた
111	13・02		睡眠の話・医療情報等	会社勤務時代医療情報担当者として勉強した知識の貴重なおすそ分け。我々必須の“良い睡眠”のとりかた・QOL・EBM・セカンドオピニオン・先進医療・チーム医療などについての分かり易い説明
110	13・01	(株)大林組 建設本部 高木浩志氏	東京スカイツリーについて	東武に選ばれ、苛酷条件を想定して数々の新技術開発に挑戦しながら難工事を見事完遂させた建設秘話。東武が初めに提示した『時空を超えて』・『日本古来の技術』を具現した努力と熱意に感動
109	12・12		意外と知らない選挙の話	衆議院選挙目前の時宜を得た講話。この世界40年の実績から、選挙の仕組みとルールを54枚のシートで詳細に解説

108	12・11		エンディング・ノートについて	町田市主催の講師を5年間勤めたテーマだけあって身辺整理・尊厳死・遺言・葬儀・お墓など、我々にとって必要な事項を適切にアドバイス
-----	-------	--	----------------	---